【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2002-196658(P2002-196658A)
【公開日】平成14年7月12日(2002.7.12)
【出願番号】特願2000-398404(P2000-398404)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０９Ｂ　5/08
　Ｇ０６Ｆ　17/60
　Ｇ０９Ｂ　19/00
【ＦＩ】
　Ｇ０９Ｂ　5/08
　Ｇ０６Ｆ　17/60　１２８
　Ｇ０９Ｂ　19/00　G

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月12日(2005.1.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　テキスト・データ、ビデオ・データまたは音声データからなる複数の教材を格納する第１のメモリ領域と、教材提示パターンを格納する第２のメモリ領域とを含む記憶装置と、
　ユーザに関するアンケートの回答を分析して性格特性に関連する前記ユーザの特徴を決定し、前記ユーザの特徴に基づいて前記ユーザに対する教材提示パターンを決定して前記第２のメモリ領域に格納する教材提示パターン決定手段と、
　前記第２のメモリ領域から前記ユーザに対する前記教材提示パターンを取り出して、前記教材提示パターンに基づいて、前記第１のメモリ領域における特定の科目の複数の教材の中の幾つかの教材を選択および編集して教材モジュールを形成し、前記教材モジュールを前記ユーザに提示する教材提示処理手段と、
　前記教材の提示パターンに基づく前記教材モジュールを用いた前記ユーザの学習の期間における前記ユーザの学習行動を分析し、その分析結果に従って前記教材の提示パターンを修正し、前記修正された教材提示パターンを前記第２のメモリ領域に格納する教材提示パターン修正手段と、
を具える、情報処理装置。
【請求項２】
　前記教材提示パターンは、難易度、時間および繰り返しに関する特定のレベルを規定するものである、請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
　前記教材提示パターン決定手段は、さらに前記アンケートの回答を分析して生活信条に関連する前記ユーザの特徴を決定するものである、請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項４】
　情報処理装置用のプログラムが格納された記憶媒体であって；
　前記情報処理装置は記憶装置およびプロセッサを具え、
　前記記憶装置は、テキスト・データ、ビデオ・データまたは音声データからなる複数の教材を格納する第１のメモリ領域と、教材提示パターンを格納する第２のメモリ領域とを

含むものであり；
前記プログラムは、前記プロセッサに、
ユーザに関するアンケートの回答を分析して性格特性に関連する前記ユーザの特徴を決定するステップと、
前記ユーザの特徴に基づいて前記ユーザに対する教材提示パターンを決定して前記第２のメモリ領域に格納するステップと、
前記第２のメモリ領域から前記ユーザに対する前記教材提示パターンを取り出して、前記教材提示パターンに基づいて、前記第１のメモリ領域における特定の科目の複数の教材の中の幾つかの教材を選択および編集して教材モジュールを形成し、前記教材モジュールを前記ユーザに提示するステップと、
前記教材提示パターンに基づく前記教材モジュールを用いた前記ユーザの学習の期間における前記ユーザの学習行動を分析し、その分析結果に従って前記教材の提示パターンを修正して前記修正された提示パターンを前記第２のメモリ領域に格納するステップと、
を実行させるものである、
記憶媒体。
【請求項５】
テキスト・データ、ビデオ・データまたは音声データからなる複数の教材をユーザに提示するコンピュータ支援学習システムにおいて、教材を適応的にユーザに提示する教材提示方法であって、
ユーザに関するアンケートの回答を分析して性格特性に関連する前記ユーザの特徴を決定し、
前記ユーザの特徴に基づいて前記ユーザに対する教材提示パターンを決定し、
前記ユーザに対する前記教材提示パターンに基づいて、特定の科目の複数の教材の中の幾つかの教材を選択および編集して教材モジュールを形成し、前記教材モジュールを前記ユーザに提示し、
前記教材提示パターンに基づく前記教材モジュールを用いた前記ユーザの学習の期間における前記ユーザの学習行動を分析し、その分析結果に従って前記教材の提示パターンを修正する、
教材提示方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【発明の概要】
本発明の１つの特徴（側面）によれば、教材提示装置は、テキスト・データ、ビデオ・データおよび／または音声データからなる複数の教材要素を格納する第１のメモリ領域と、教材提示パターンを格納する第２のメモリ領域とを含む記憶装置と；ユーザに関するアンケートの回答を分析して性格特性に関連するそのユーザの特徴を決定し、そのユーザの特徴に従ってそのユーザに対する教材提示パターンを決定してその第２のメモリ領域に格納する第１の処理器手段と；その第２のメモリ領域からそのユーザに対するその教材提示パターンを取り出して、その教材提示パターンに従ってその第１のメモリ領域における特定の科目の複数の教材要素の中から幾つかの教材要素を選択および編集して教材モジュールを形成し、その教材提示パターンに従ってその教材モジュールをそのユーザに提示する第２の処理器手段と；その教材提示パターンに従ったその提示された教材モジュールを用いたそのユーザの学習の期間におけるそのユーザの学習行動を分析し、その分析に従ってその教材の提示パターンを修正して、その修正された提示パターンをその第２のメモリ領域に格納する第３の処理器手段と、を具える。
【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明の別の特徴によれば、記憶媒体に格納された情報処理装置用のプログラムは、プロセッサに、ユーザに関するアンケートの回答を分析して性格特性に関連するそのユーザの特徴を決定するステップと；そのユーザの特徴に従ってそのユーザに対する教材提示パターンを決定してその第２のメモリ領域に格納するステップと；その第２のメモリ領域からそのユーザに対するその教材提示パターンを取り出して、その教材提示パターンに従ってその第１のメモリ領域における特定の科目の複数の教材要素の中から幾つかの教材要素を選択および編集して教材モジュールを形成し、その教材提示パターンに従ってその教材モジュールをそのユーザに提示するステップと；その教材提示パターンに従ったその提示された教材モジュールを用いたそのユーザの学習の期間におけるそのユーザの学習行動を分析し、その分析に従ってその教材の提示パターンを修正してその修正された提示パターンをその第２のメモリ領域に格納するステップと、を実行させる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明のさらに別の特徴によれば、テキスト・データ、ビデオ・データおよび／または音声データからなる複数の教材要素をユーザに提示するコンピュータ支援学習システムにおいて、教材を適応的にユーザに提示する方法は、ユーザに関するアンケートの回答を分析して性格特性に関連するそのユーザの特徴を決定するステップと；そのユーザの特徴に従ってそのユーザに対する教材提示パターンを決定するステップと；そのユーザに対するその教材提示パターンに従って特定の科目の複数の教材要素の中から幾つかの教材要素を選択および編集して教材モジュールを形成し、その教材提示パターンに従ってその教材モジュールをそのユーザに提示するステップと；その提示された教材モジュールを用いたそのユーザの学習の期間におけるそのユーザの学習行動を分析し、その分析に従ってその教材の提示パターンを修正するステップと、を含む。